

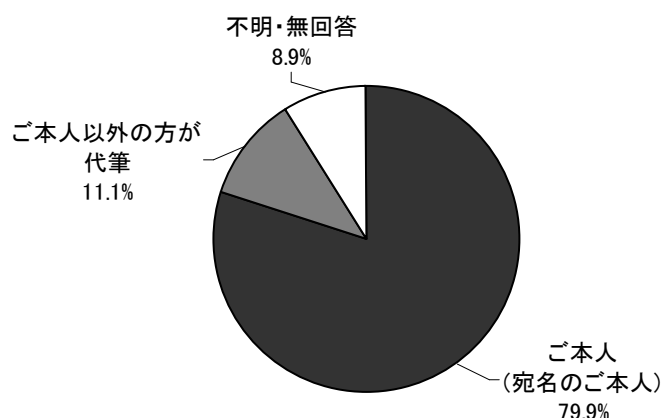
地域福祉計画アンケート調査集計結果

《 調査集計結果の見方 》

- 回答割合は少数第2位を四捨五入しているため、合計が100.0%にならない場合があります。
- グラフで「不明・無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものです。
- グラフおよび表のN数は有効標本数（集計対象者総数）、(SA)は単数回答の設問、(MA)は複数回答の設問、(NA)は数量を表しています。
- 年齢別・男女別の集計データについては、掲載を割愛しています。

- この調査に回答されるのはどなたですか。（ご本人が回答できない場合、ご本人の意思を尊重して、家族または介護者の方が代わりにご回答ください。）(SA)

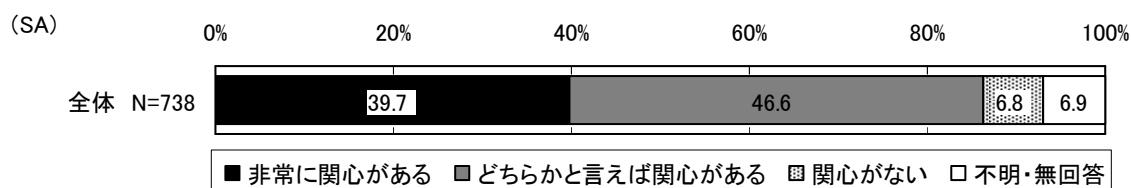
回答者についてみると、「ご本人(宛名のご本人)」が79.9%、「ご本人以外の方が代筆」が11.1%となっています。(SA)N=738



1 「福祉」について

問1 あなた（宛名のご本人。以下同じ）は、「福祉」に関心をお持ちですか。(SA)

「福祉」に対する関心の有無についてみると、「どちらかと言えば関心がある」が46.6%、「非常に関心がある」が39.7%となっています。

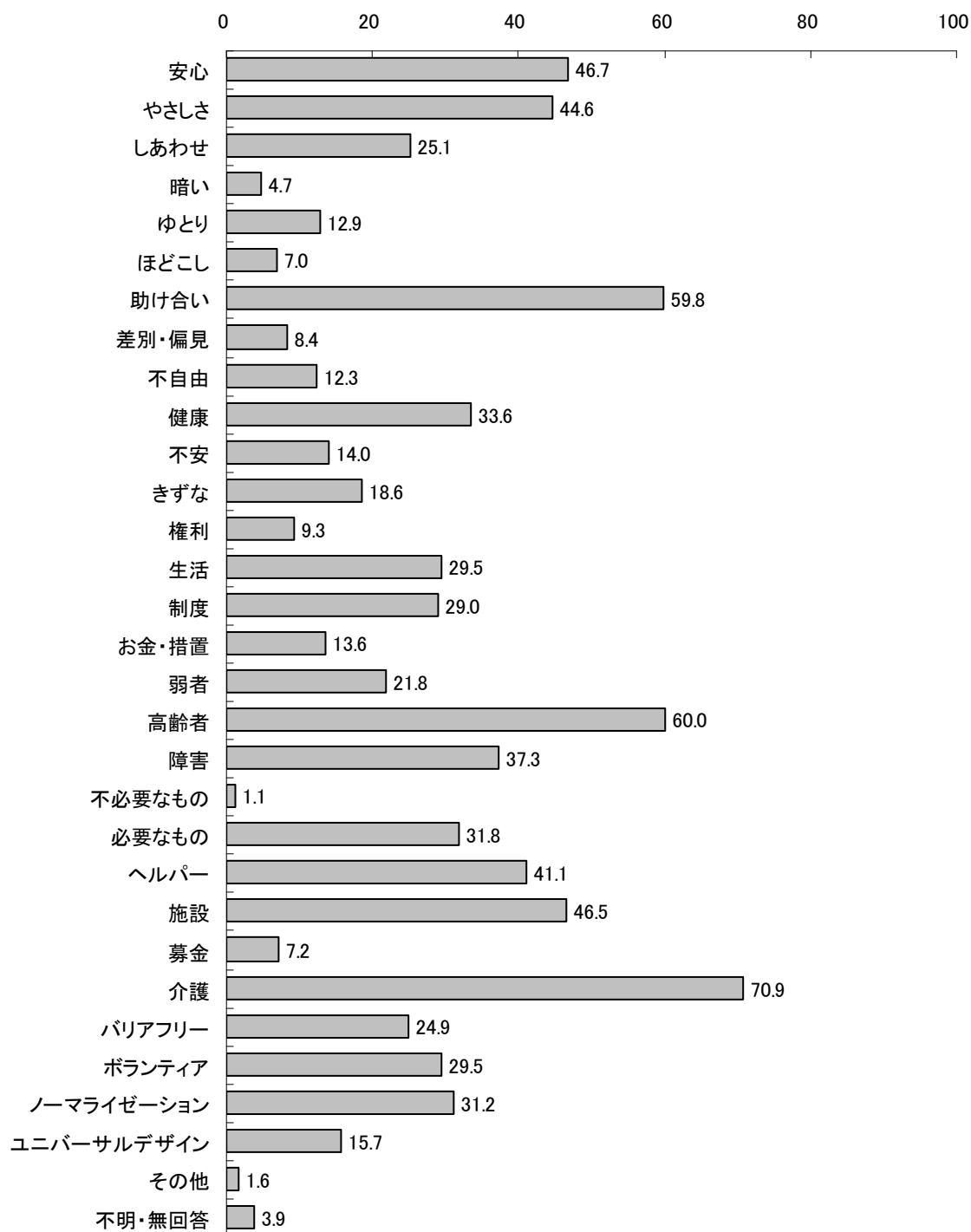


問2 あなたは「福祉」という言葉から、どのようなことを思い浮かべますか。(MA)

「福祉」という言葉から、どのようなことを思い浮かべるかについては、「介護」が70.9%と最も多く、次いで「高齢者」が60.0%、「助け合い」が、59.8%となっています。

(MA)N=738

単位：%

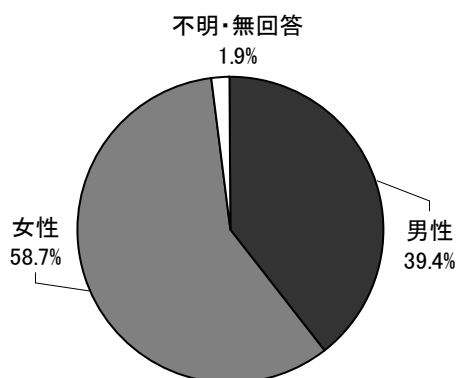


2 ご本人について

問3 あなたの性別はどちらですか。(SA)

性別については、「女性」が58.7%、「男性」が39.4%となっています。

(SA)N=738

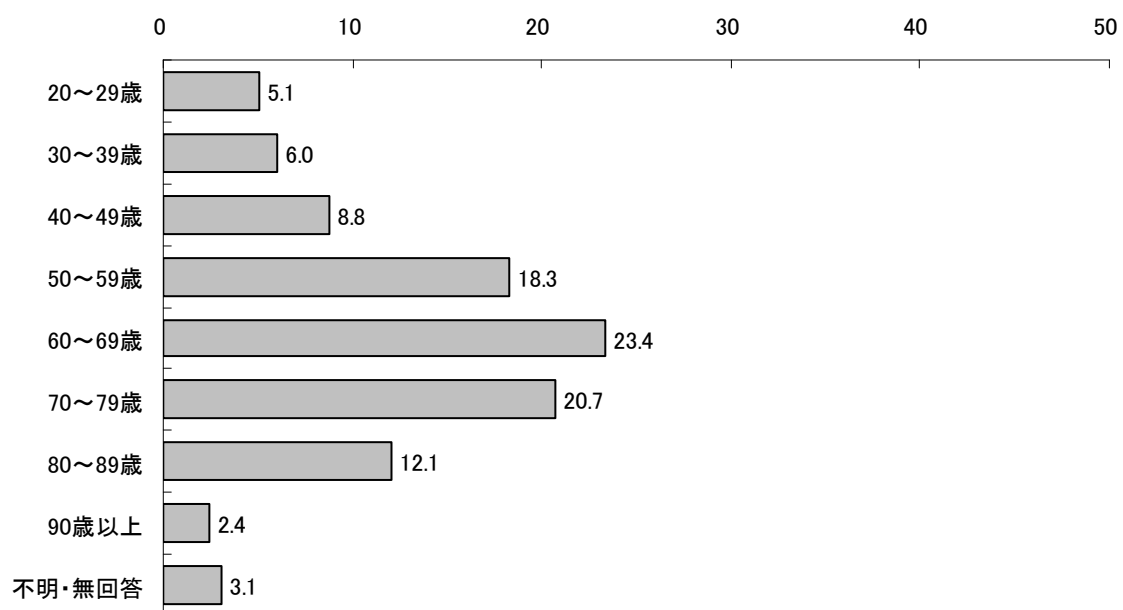


問4 あなたの年齢は満何歳ですか。(NA)

年齢については、「60～69歳」が23.4%と最も多く、次いで「70～79歳」が20.7%となっています。

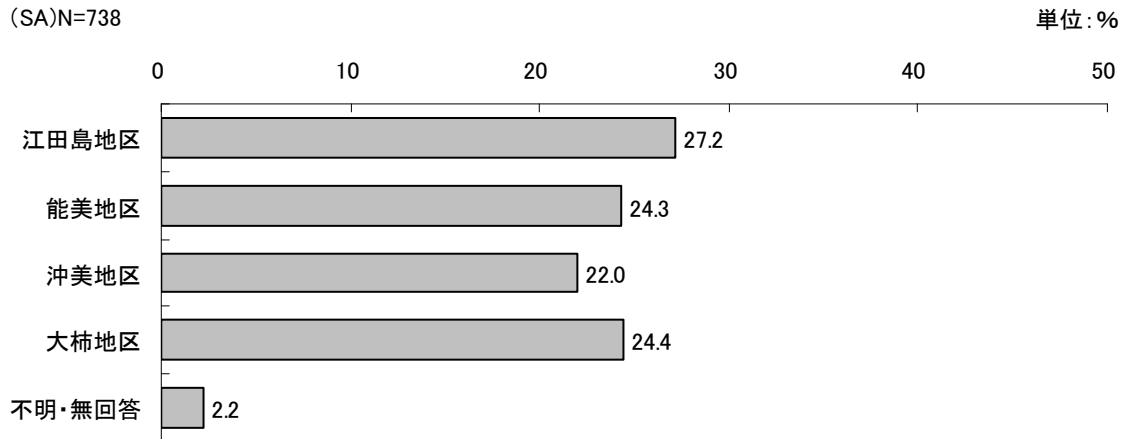
(NA)N=738

単位:%



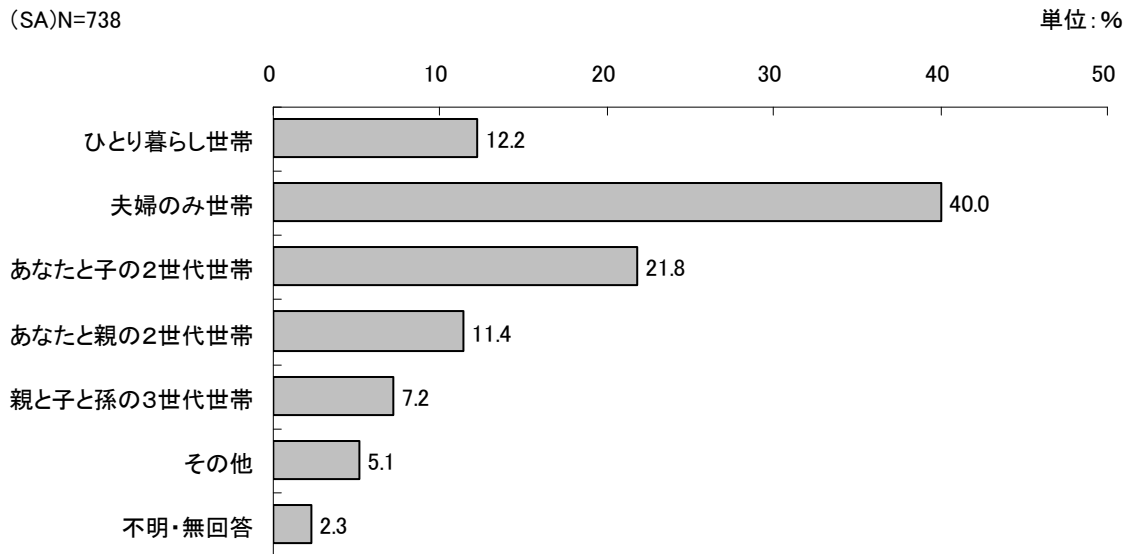
問5 あなたが住んでいる地区は次のどれですか。(SA)

住んでいる地区についてみると、「江田島地区」が27.2%、「能美地区」が24.3%、「沖美地区」が22.0%、「大柿地区」が24.4%となっています。



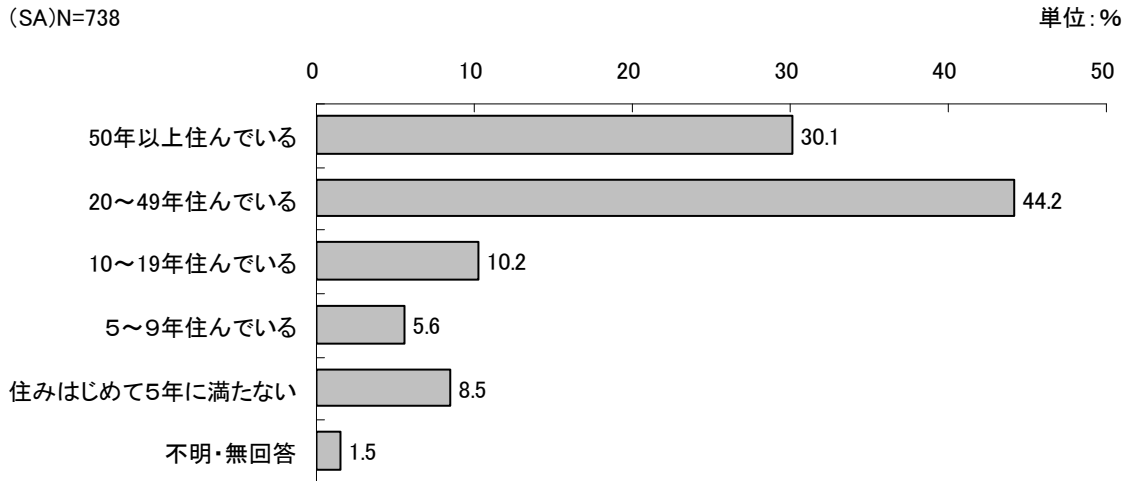
問6 あなたの世帯は次のどれですか。(SA)

世帯についてみると、「夫婦のみ世帯」が40.0%と最も多く、次いで「あなたと子の2世代世帯」が21.8%となっています。



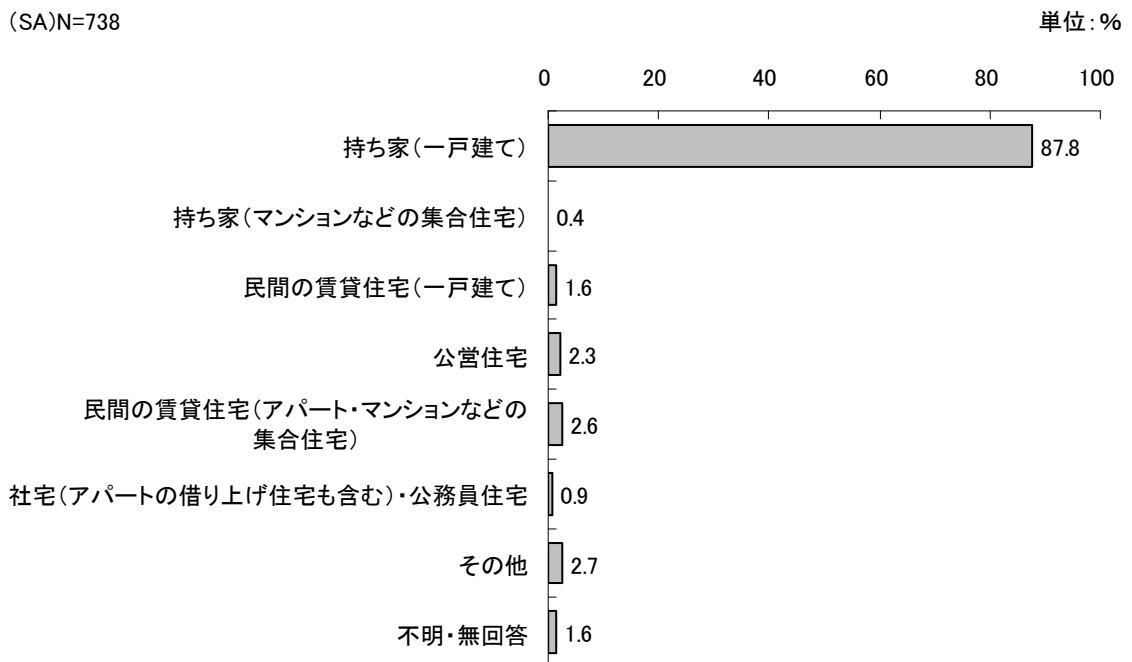
問7 あなたは現住所地に住んで何年になりますか。(SA)

現住所地に住んで何年になるかについてみると、「20～49年住んでいる」が44.2%と最も多く、次いで「50年以上住んでいる」が30.1%となっています。



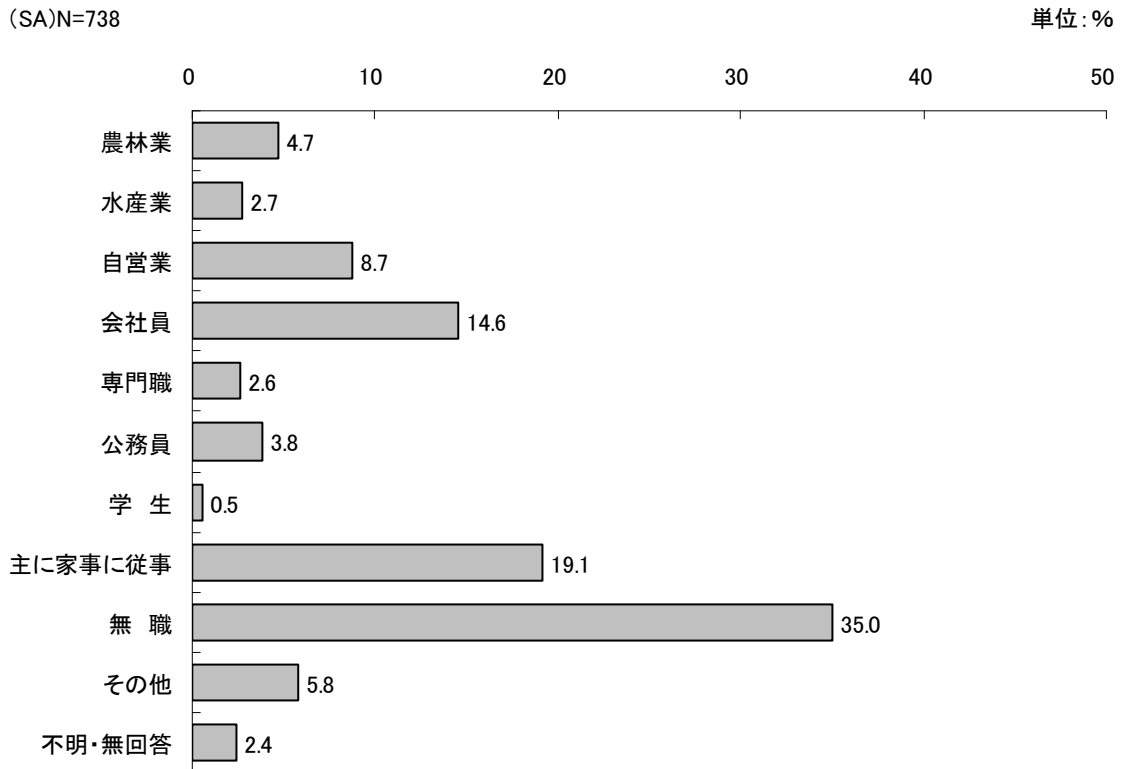
問8 あなたのお住まいの形態は次のどれですか。(SA)

住まいの形態については、「持ち家（一戸建て）」が87.8%と最も多くなっています。



問9 あなたの主たる職業は次のどれですか。(SA)

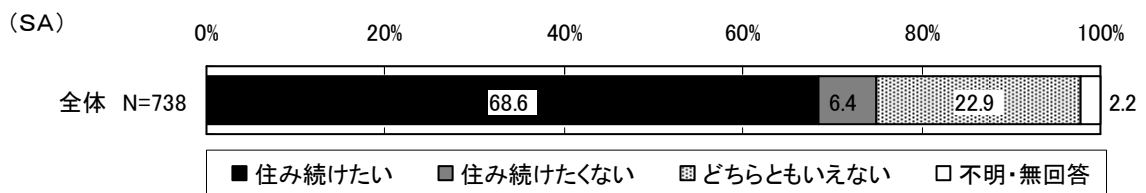
職業については、「無職」が35.0%と最も多く、次いで「主に家事に従事」が19.1%、「会社員」が14.6%となっています。



3 ご本人の住む地域について

問10 あなたは、これからも現在住んでいるところに住み続けたいと思いますか。(SA)

これからも現在住んでいるところに住み続けたいかについてみると、「住み続けたい」が68.6%と最も多く、次いで「どちらともいえない」が22.9%となっています。



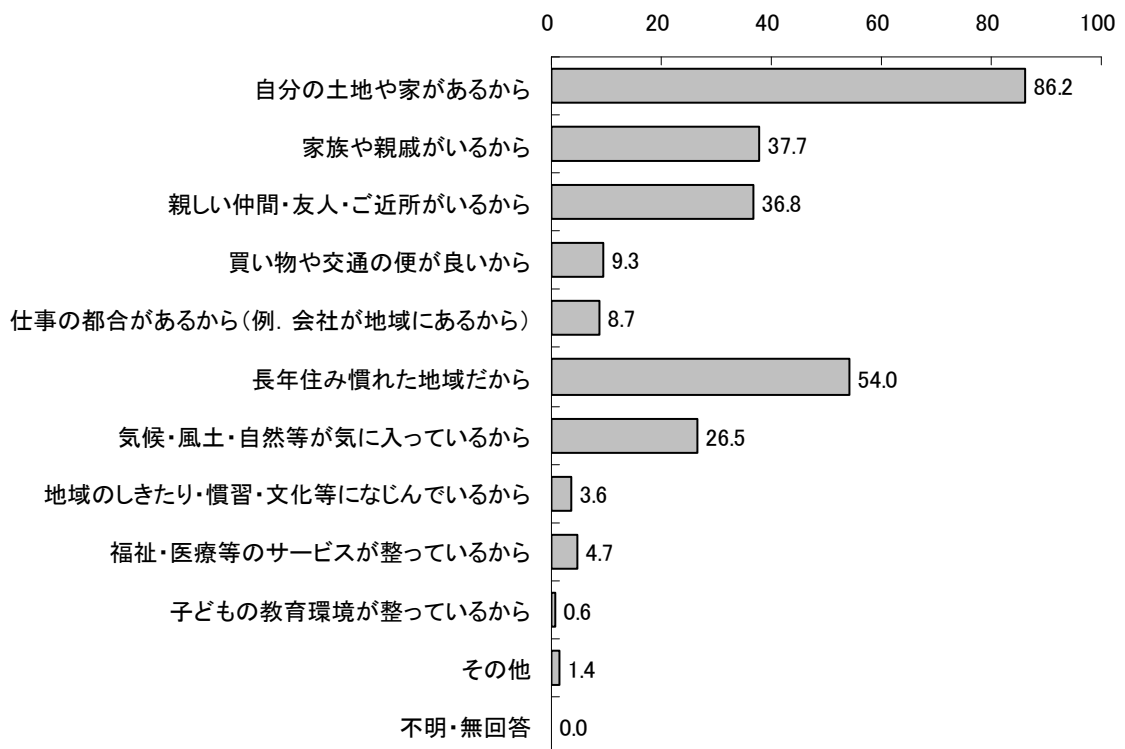
問 10「住み続けたい」の回答者

問 11-1 これからも現在住んでいるところに住み続けたい理由は何ですか。(MA)

住み続けたい理由についてみると、「自分の土地や家があるから」が86.2%と最も多く、次いで「長年住み慣れた地域だから」が54.0%、「家族や親戚がいるから」が37.7%となっています。

(MA)N=506

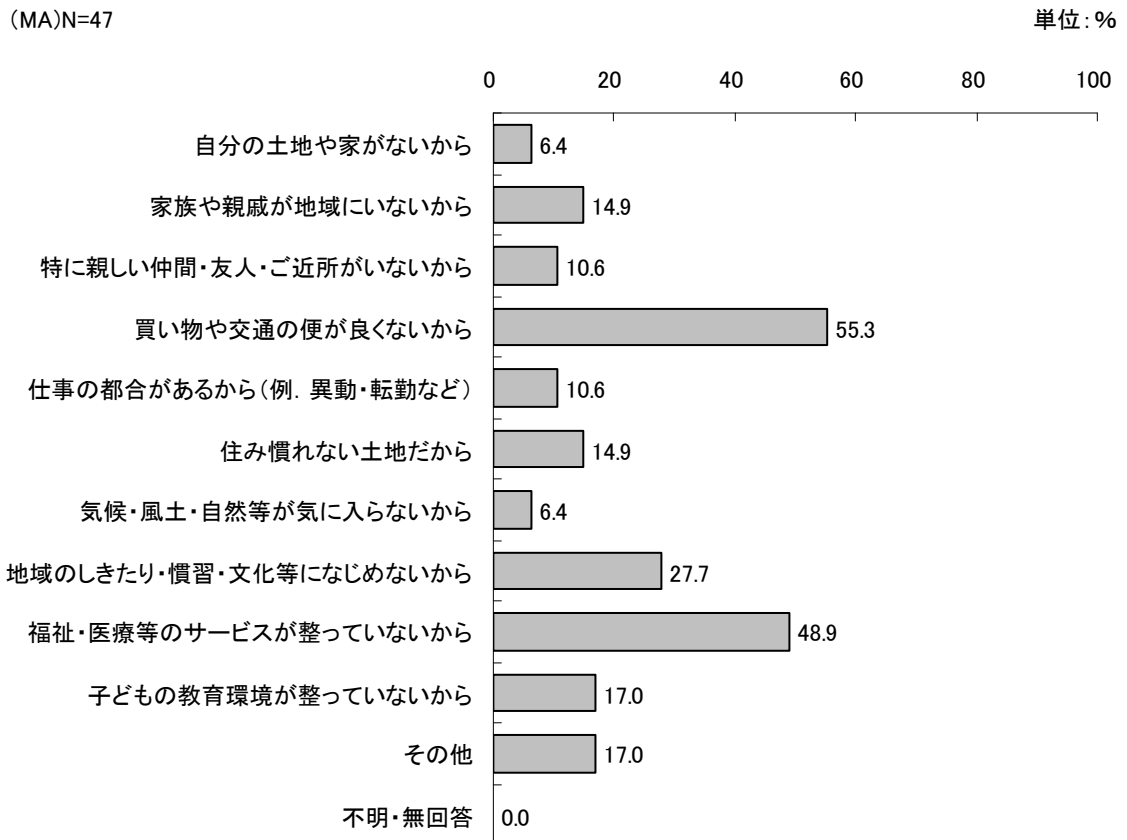
単位：%



問 10 「住み続けたくない」の回答者

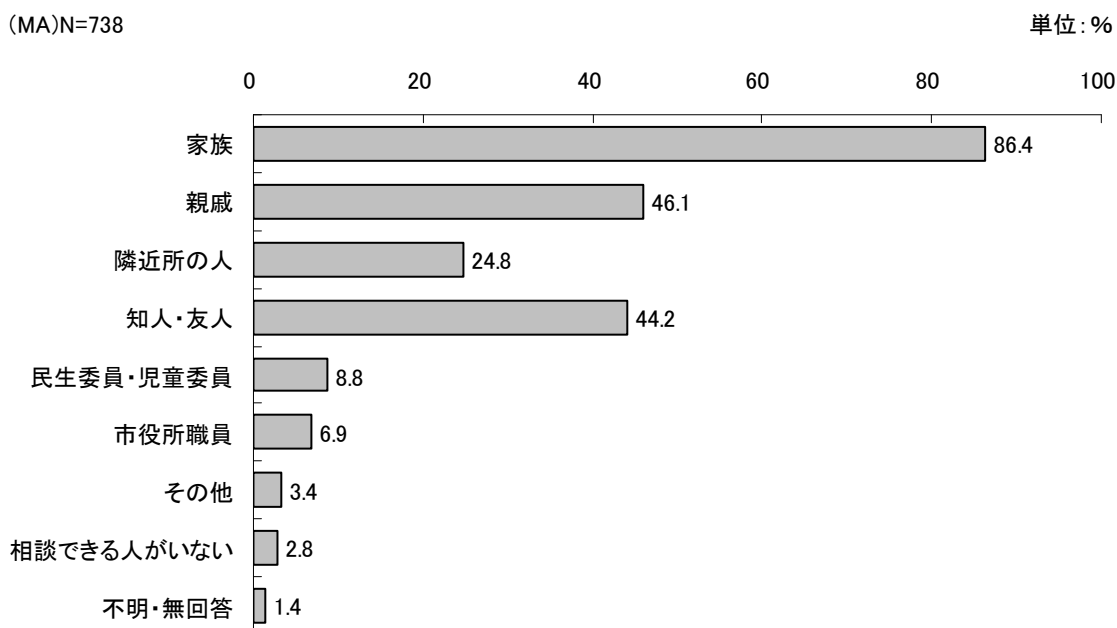
問 11-2 現在住んでいるところに住み続けたくない理由は何ですか。(MA)

住み続けたくない理由についてみると、「買い物や交通の便が良くないから」が55.3%と最も多く、次いで「福祉・医療等のサービスが整っていないから」が48.9%となっています。



問 12 あなたは地域で生活するうえで、困ったときにだれに一番に相談しますか。(MA)

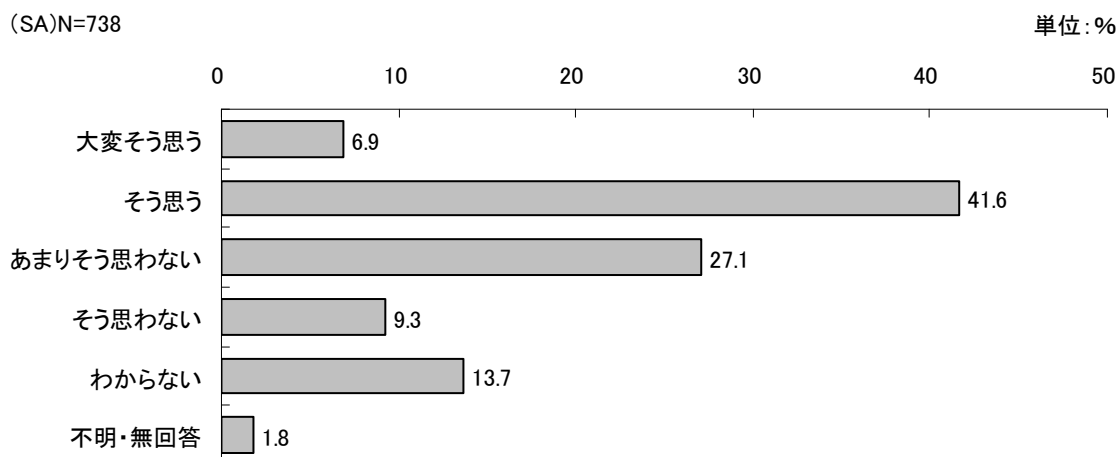
困ったときにだれに相談するかについてみると、「家族」が 86.4%と最も多く、次いで「親戚」が 46.1%、「知人・友人」が 44.2%となっています。



問 13 あなたの身近な地域について、お考えをうかがいます。(SA)

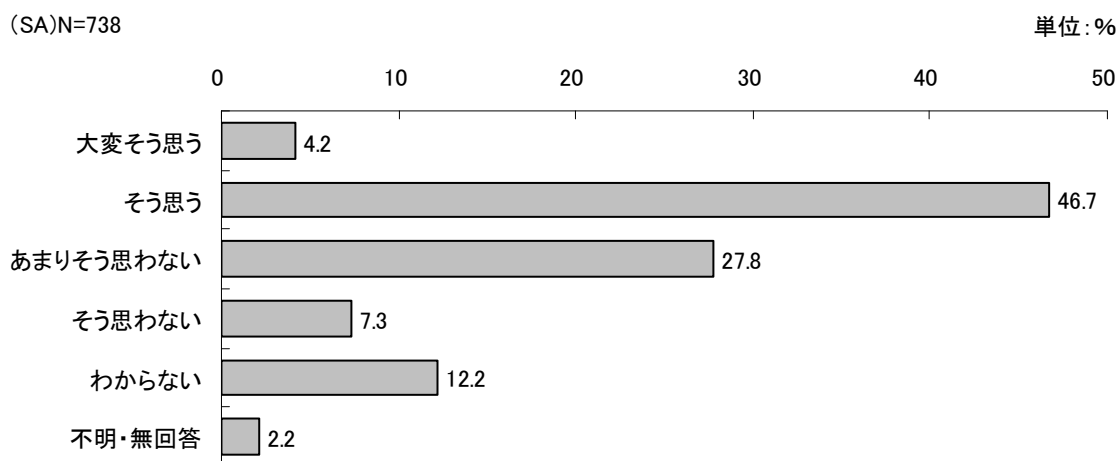
(1) あなたの身近な地域は、まとまりがある方だと思いますか。

身近な地域のまとまりについてみると、「そう思う」が 41.6%、「あまりそう思わない」が 27.1%となっています。



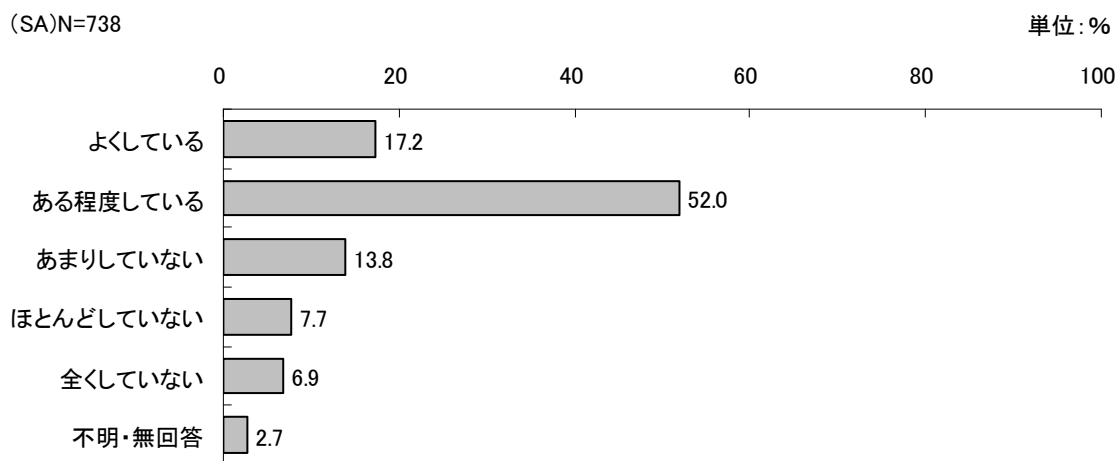
(2) あなたの身近な地域の住民は、お互いに助け合っていると思いますか。

身近な地域の住民は、お互いに助け合っているかについてみると、「そう思う」が 46.7%、「あまりそう思わない」が 27.8%となっています。



(3) あなたは地域の行事や活動などに参加・協力していますか。

地域の行事や活動などに参加・協力しているかについてみると、「ある程度している」が 52.0%、「よくしている」が 17.2%となっています。

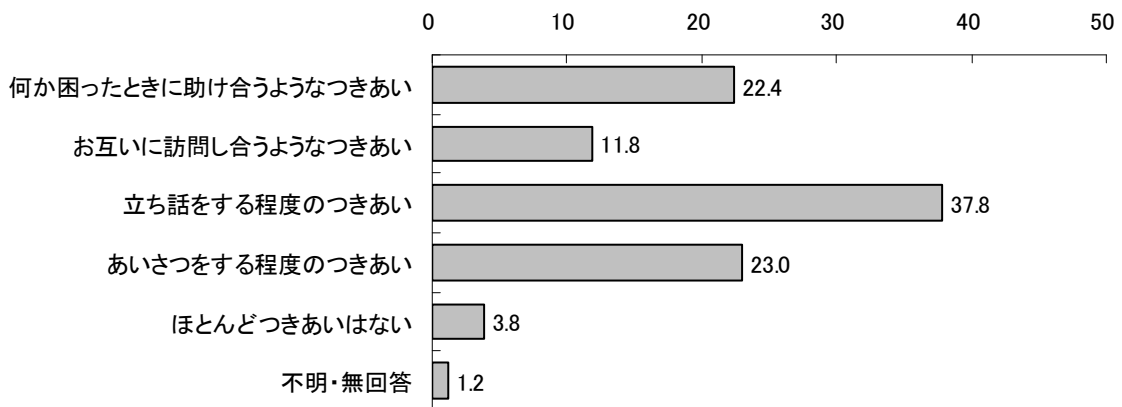


問 14 あなたは、ふだん近所の方とどの程度のおつきあいをされていますか。(SA)

近所の方とのつきあいについてみると、「立ち話をする程度のつきあい」が37.8%と最も多く、次いで「あいさつをする程度のつきあい」が23.0%となっています。

(SA)N=738

単位:%



問 15 あなたの住んでいる地域にはどのような問題や課題があると感じていますか。

(MA)

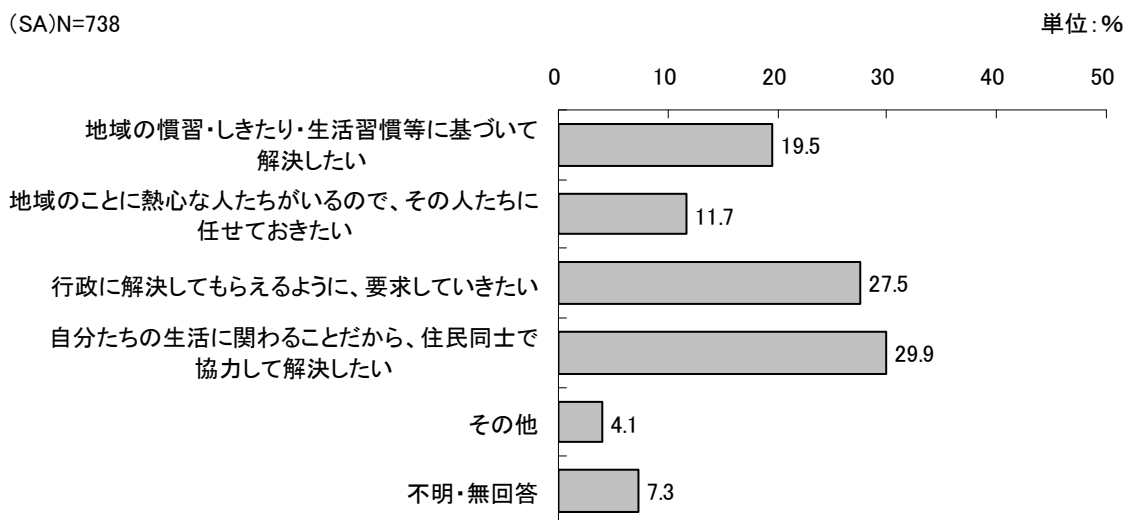
住んでいる地域にはどのような問題や課題があるかについてみると、「子どもの数が少ない」が49.1%と最も多く、次いで「交通が不便」が39.4%、「医療」が33.6%、「障害者・高齢者が暮らしやすい環境づくり」が32.8%となっています。

(MA)N=738

カテゴリ	件数	(全体)%
地域でのつきあいや連帯が十分でないので問題を感じる	108	14.6
地域でのつきあいや連帯が強すぎて(わずらわしくて)問題を感じる	33	4.5
異世代との交流	62	8.4
障害者・高齢者が暮らしやすい環境づくり	242	32.8
地域文化の伝承	47	6.4
道路の整備	119	16.1
交通が不便	291	39.4
住宅の整備	30	4.1
雇 用	148	20.1
ゴミの減量化	86	11.7
高齢者の介護	184	24.9
ひとり暮らしの高齢者の生活支援	207	28.0
高齢者の社会参加や生きがい	85	11.5
子どもの遊び場	87	11.8
子どもの数が少ない	362	49.1
家庭での子どものしつけや教育	78	10.6
子どもの教育	68	9.2
母子家庭や父子家庭の子育て	26	3.5
共働き家庭の子どもの生活	61	8.3
健康づくりについての人々の意識や知識	63	8.5
乳幼児期の子育て	32	4.3
子どもや高齢者などへの虐待	11	1.5
医 療	248	33.6
その他	25	3.4
不明・無回答	47	6.4

問 16 あなたが住んでいる地域で、もし住民の生活に関わる問題や課題が生じたら、あなたはどのようにしますか。(SA)

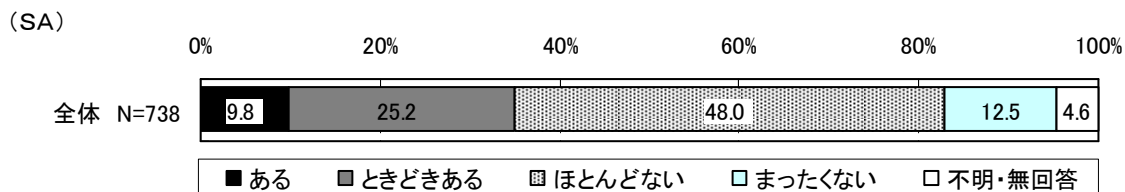
住民の生活に関わる問題や課題に対しどうするかについてみると、「自分たちの生活に関わることだから、住民同士で協力して解決したい」が 29.9%と最も多く、次いで「行政に解決してもらえるように、要求していきたい」が 27.5%となっています。



4 障害者福祉について

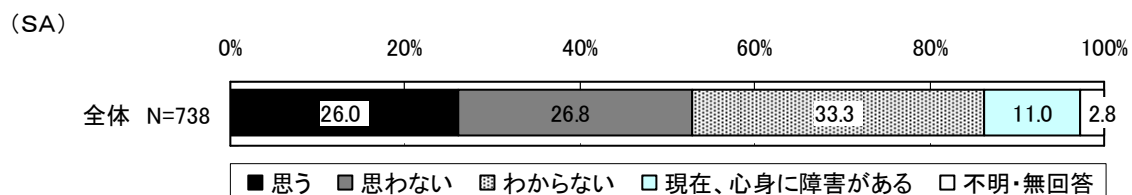
問 17 あなたは、地域の中に、障害のある方に対する差別や偏見があると思いますか。(SA)

障害のある方に対する差別や偏見があるかについてみると、「ほとんどない」が 48.0%、「ときどきある」が 25.2%となっています。



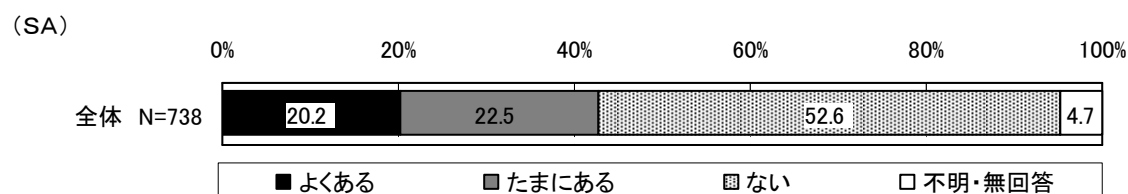
問 18 あなたは、自分が心身に障害をもつことがあると思いますか。(SA)

自分が心身に障害をもつことがあると思うかについてみると、「わからない」が 33.3%、「思わない」が 26.8%となっています。



問 19 あなたは、日常生活のなかで障害のある方と一緒に過ごす機会がありますか(障害のある方は、障害のない方と過ごす機会)。(SA)

日常生活のなかで障害のある方と一緒に過ごす機会があるかについてみると、「ない」が 52.6%、「たまにある」が 22.5%となっています。

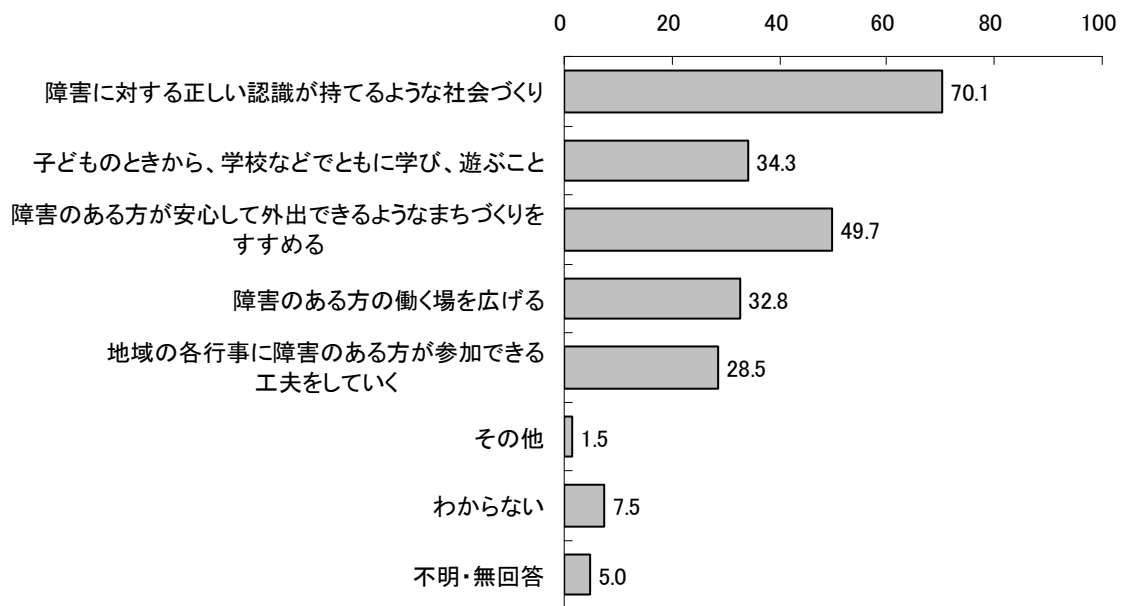


問 20 障害のある方とない方がお互いに理解しあうため、必要なことは何だと思えますか。(MA)

障害のある方とない方がお互いに理解しあうため、必要なことは何かについてみると、「障害に対する正しい認識が持てるような社会づくり」が 70.1%と最も多く、次いで「障害のある方が安心して外出できるようなまちづくりをすすめる」が 49.7%となっています。

(MA)N=738

単位:%



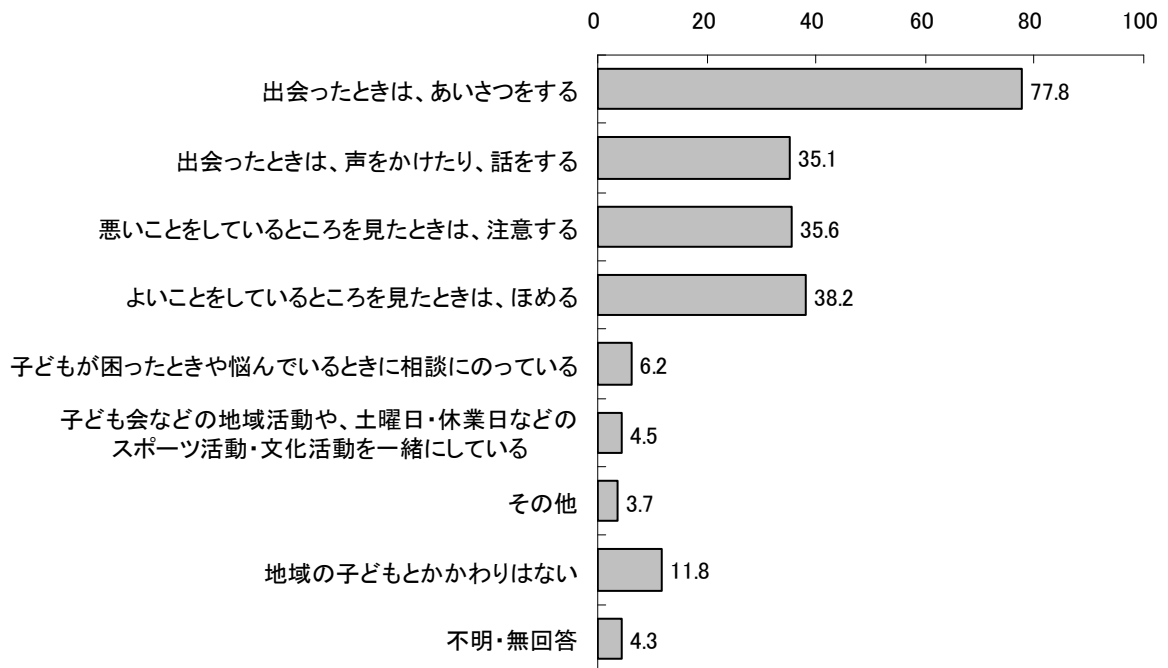
5 子育てのことについて

問 21 ふだん、あなたは地域の子どもとどのように接していますか。(MA)

地域の子どもとどのように接しているかについてみると、「出会ったときは、あいさつをする」が77.8%と最も多く、次いで「よいことをしているところを見たときは、ほめる」が38.2%となっています。

(MA)N=738

単位：%

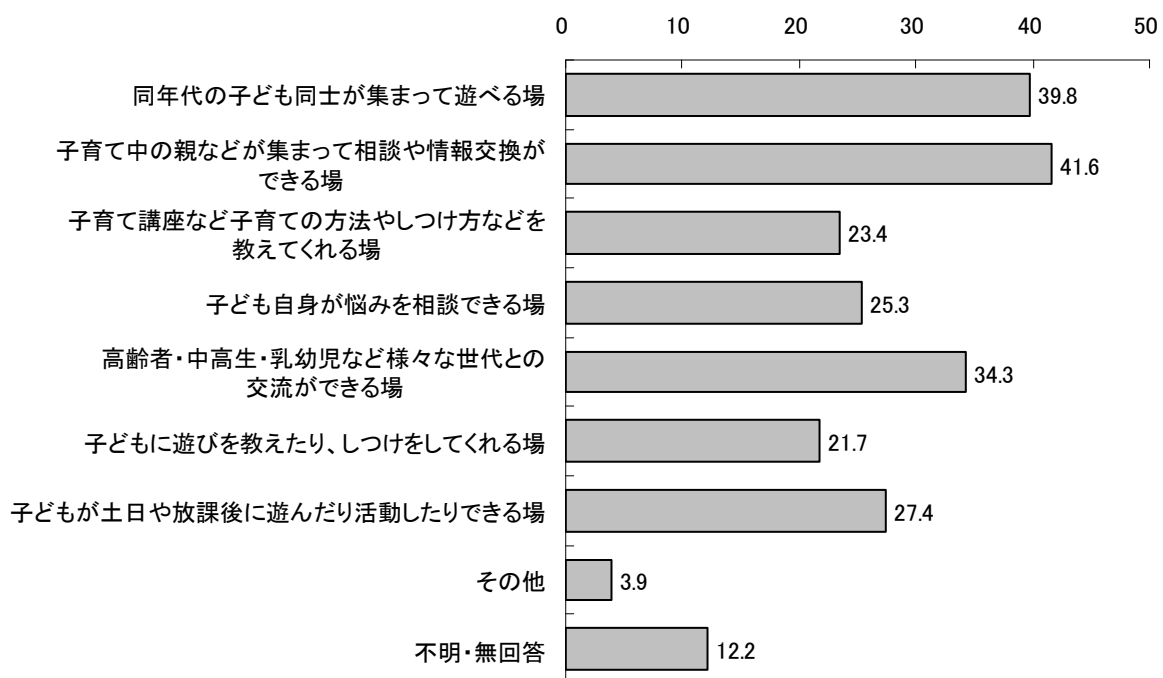


問 22 子どもや子育てについて、地域に必要なことはなんだと思いますか。(MA)

子どもや子育てで地域に必要なことについてみると、「子育て中の親などが集まって相談や情報交換ができる場」が41.6%と最も多く、次いで「同年代の子ども同士が集まって遊べる場」が39.8%となっています。

(MA)N=738

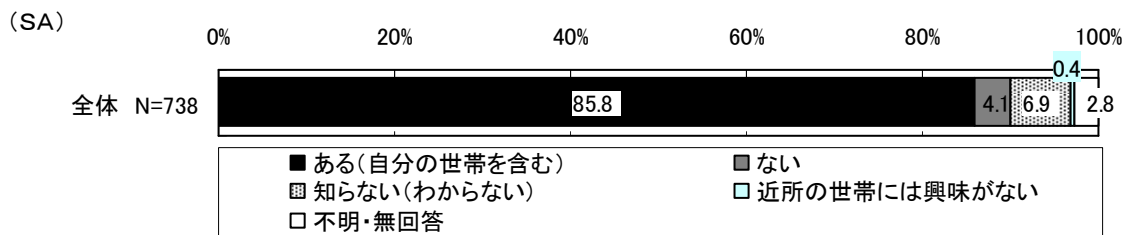
単位：%



6 高齢者福祉について

問 23 あなたのご近所に、65 歳以上の高齢者のひとり暮らしや高齢者夫婦だけの世帯がありますか。(SA)

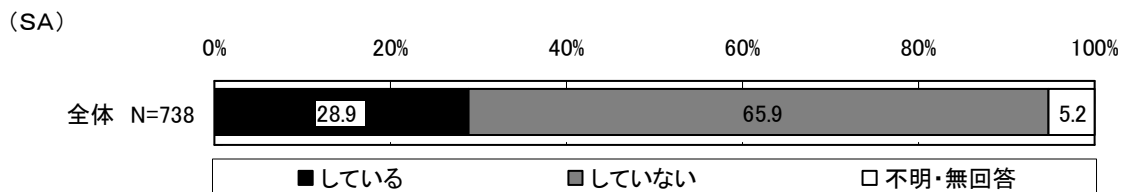
近所に、65 歳以上の高齢者のひとり暮らしや高齢者夫婦だけの世帯があるかについてみると、「ある（自分の世帯を含む）」が 85.8%となっています。



問 23 で「ある」の回答者

問 23-1 あなたは日頃、高齢者の世帯の支援(定期的な見守りなど)を行っていますか。(SA)

高齢者の世帯の支援（定期的な見守りなど）を行っているかについてみると、「していない」が 65.9%、「している」が 28.9%となっています。



問 23 「ない」、「知らない」、「興味がない」の回答者

問 23-2 あなたのご近所に高齢者のひとり暮らしや夫婦2人だけの世帯があったとしたら、何かできることはありますか。ご自由にお書きください。

内容	件数
あいさつ、話し相手、見守り、声かけ、訪問などの見守り	11
買物、洗濯、片付けなどのお手伝い	6
仕事にかかる時間が少なくゆとりが出来たら訪問して手助け出来る事はないか支援をしたいと思う	1
老人会のサークル（卓球・カラオケなど）に誘い出す	1
変わった事はないか、家を注意して見る	1
定期的な見守りはしていないが、路上で出会う様努力している	1
地域の清掃	1
副食等を差し上げる	1
電話をしたり、訪問したりする	1
病気の際、救急車を呼ぶ	1
個人ではなく、集団的にコミュニケーションをとる	1
元気に生活しているかどうか、気に掛ける	1
相談が有れば乗る	1
外で出会った時に話をする	1
近所の話や子供達が遊びに来た話をする	1
食事でも少し運んであげたり、親切にしてあげる	1
話しかけられたら聞くようにする	1
重い物の移動（例えばストーブの灯油をつぐ）	1
緊急時にはお手伝いできる程度の関係づくり・・・	1
本（仏教）をあげて読んでもらう	1

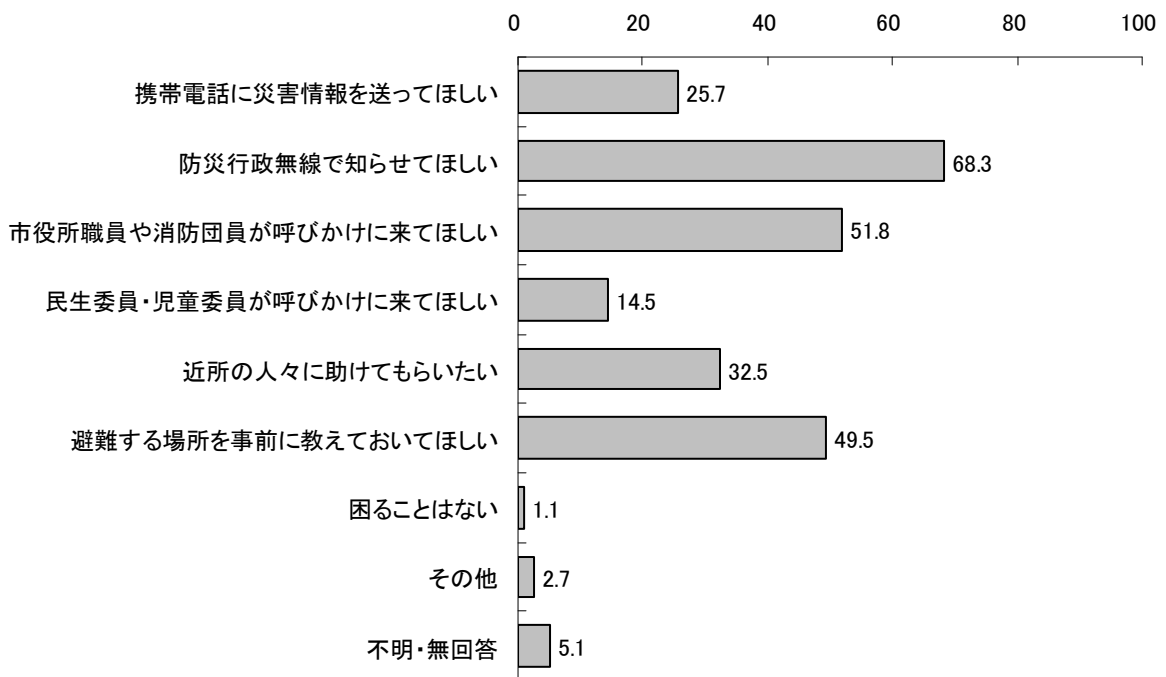
7 災害時の対応などについて

問 24 あなたは、地震や台風などの災害について知ったり、助けを呼ぶときに何が必要と思いますか。(MA)

災害時、必要なことについてみると、「防災行政無線で知らせてほしい」が68.3%と最も多く、次いで「市役所職員や消防団員が呼びかけに来てほしい」が51.8%、「避難する場所を事前に教えておいてほしい」が49.5%となっています。

(MA)N=738

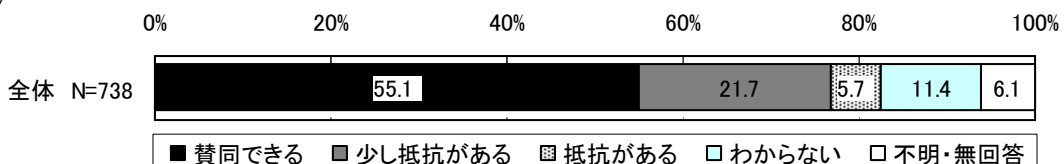
単位：%



問 25 災害など、いざというときに、支援が必要な人を速やかに救うことができるよう、その人の生活の状況（ひとり暮らしなど）や障害の有無、緊急連絡先などを登録し、地域の方々に必要に応じて公開する仕組みについてあなたは賛同できますか。(SA)

支援が必要な人を速やかに救う方法で、障害の有無、緊急連絡先などを登録し、地域の方々に必要に応じて公開する仕組みに賛同できるかについてみると、「賛同できる」が55.1%と最も多く、次いで「少し抵抗がある」が21.7%となっています。

(SA)



8 ボランティア活動について

問 26 あなたはボランティア活動や地域活動に参加していますか。または、今後参加してみたい（続けたい）活動はありますか。

■ 参加している活動 (MA)

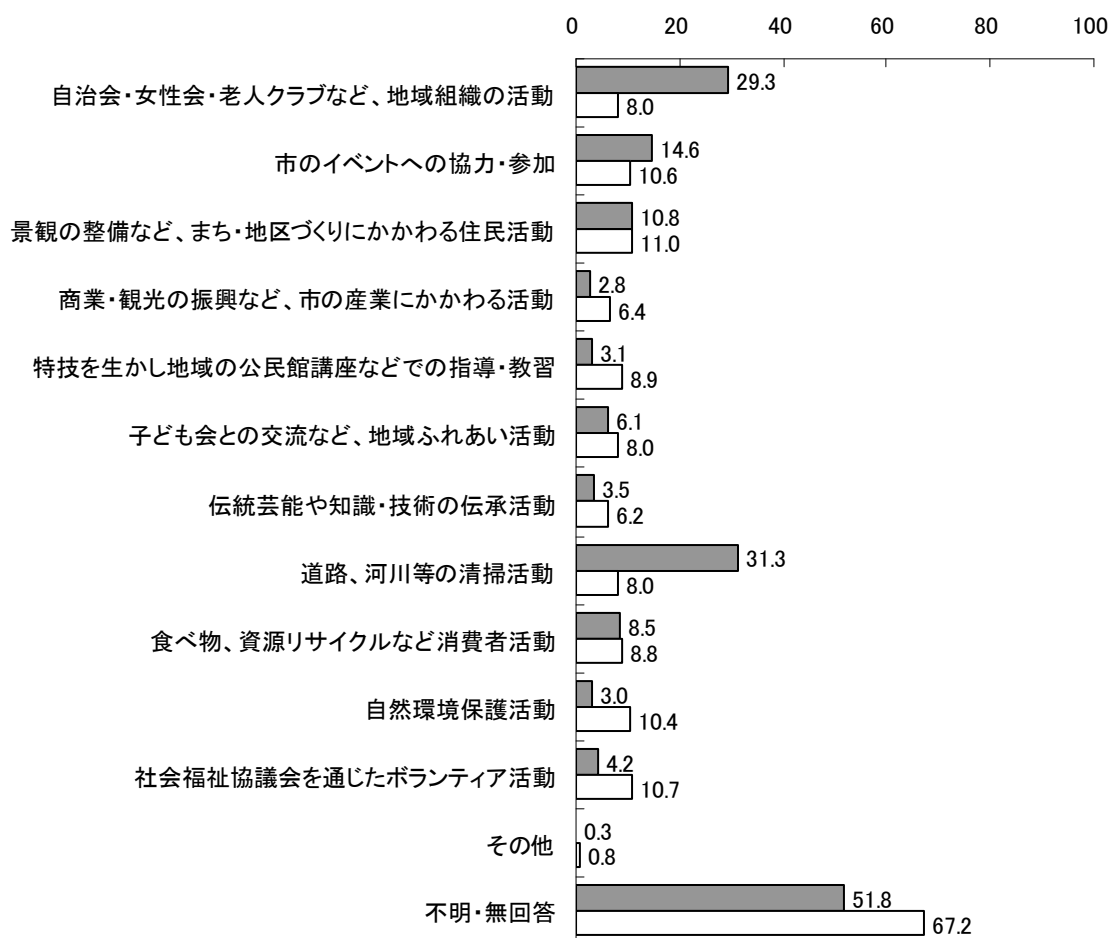
参加している活動についてみると、「道路、河川等の清掃活動」が31.3%と最も多く、次いで「自治会・女性会・老人クラブなど、地域組織の活動」が29.3%となっています。

■ 参加してみたい（続けたい）活動 (MA)

参加してみたい活動についてみると、「景観の整備など、まち・地区づくりにかかわる住民活動」が11.0%、「社会福祉協議会を通じたボランティア活動」が10.7%、「市のイベントへの協力・参加」が10.6%となっています。

(MA)N=738

単位：%



■ 参加している活動 □ 参加してみたい(続けたい)活動

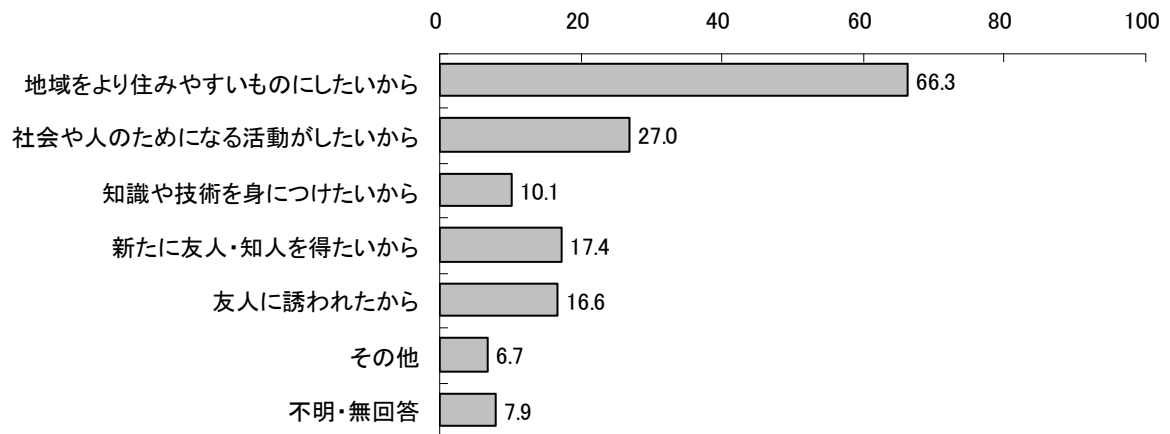
問 26 「参加している活動」がある方

問 26-2 地域活動に参加されたきっかけは何ですか。(MA)

地域活動に参加したきっかけについてみると、「地域をより住みやすいものにしたいから」が66.3%と最も多く、次いで「社会や人のためになる活動がしたいから」が27.0%となっています。

(MA)N=356

単位：%

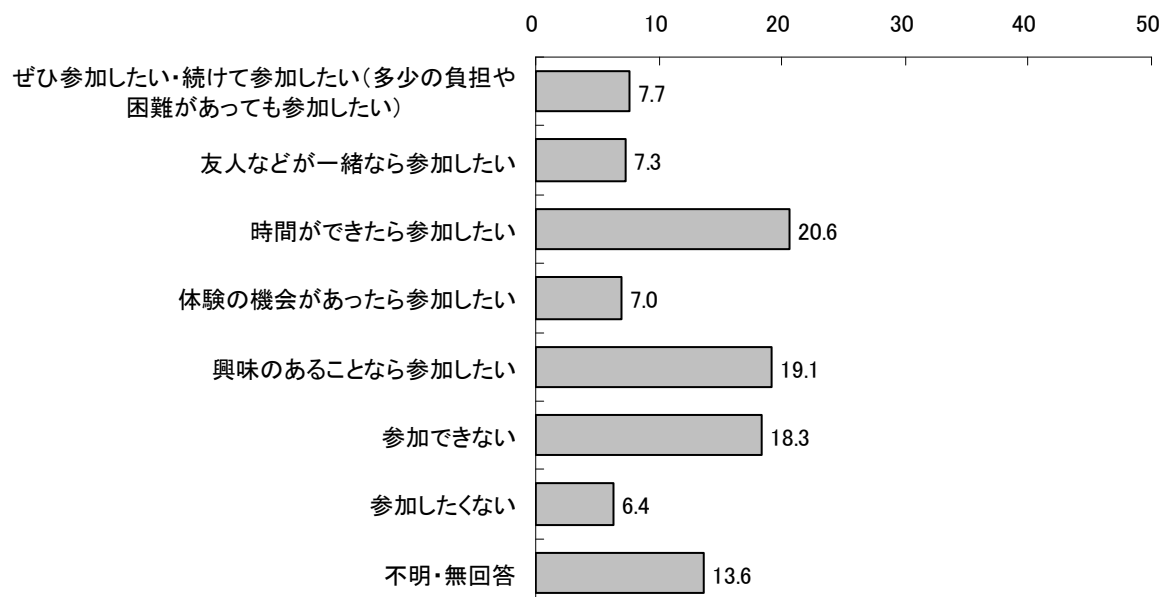


問 27 あなたはボランティア活動や地域活動に参加することについて、どう思いますか。(SA)

ボランティア活動や地域活動に参加することについてみると、「時間ができたら参加したい」が20.6%と最も多く、次いで「興味のあることなら参加したい」が19.1%となっています。

(MA)N=738

単位：%

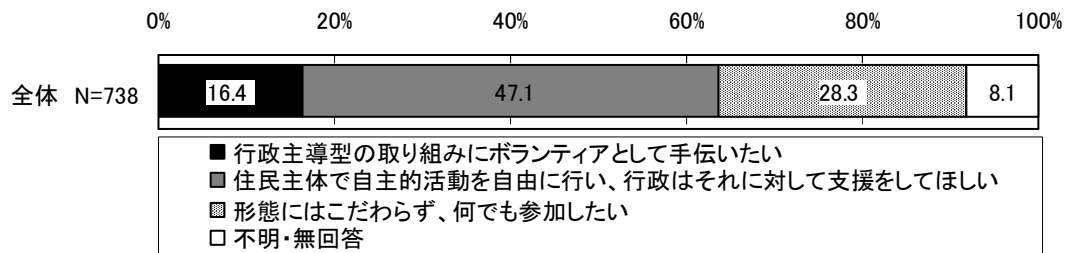


問 27 「参加したい」の回答者

問 27-2 どんな形で参加したいですか。(SA)

どんな形で参加したいかについてみると、「住民主体で自主的活動を自由に行い、行政はそれに対して支援をしてほしい」が 47.1%と最も多く、次いで「形態にはこだわらず、何でも参加したい」が 28.3%となっています。

(SA)



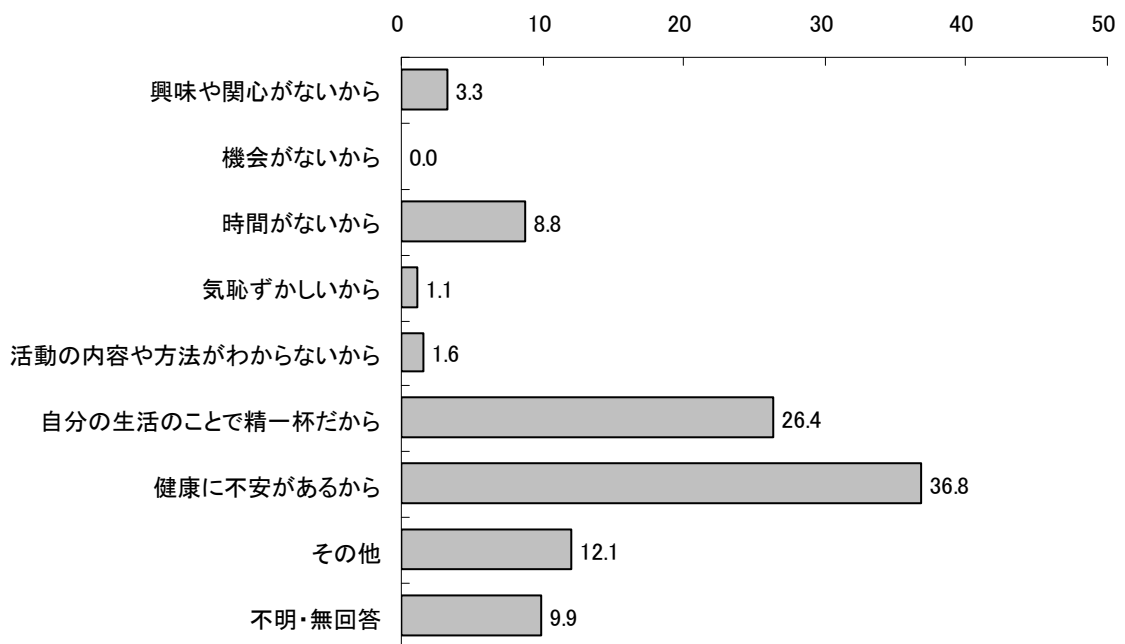
問 27 「参加できない」「参加したくない」の回答者

問 27-3 参加できない、参加したくない理由は何ですか。(SA)

参加できない、参加したくない理由についてみると、「健康に不安があるから」が 36.8%、「自分の生活のことで精一杯だから」が 26.4%となっています。

(SA)N=182

単位:%



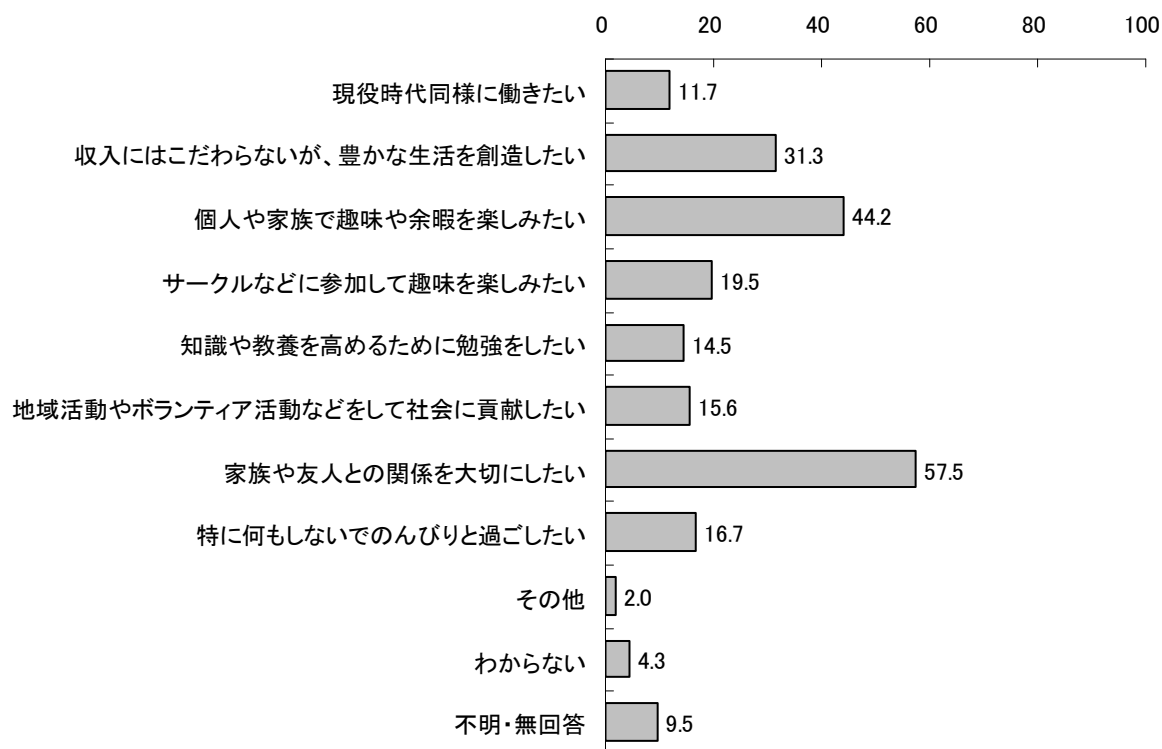
9 これからのあなた自身や江田島市について

問 28 あなたは、高齢期など生活に時間の余裕が生まれたときをどのように過ごしたいと思いますか。(MA)

高齢期をどのように過ごしたいと思うかについてみると、「家族や友人との関係を大切にしたい」が57.5%と最も多く、次いで「個人や家族で趣味や余暇を楽しみたい」が44.2%、「収入にはこだわらないが、豊かな生活を創造したい」が31.3%となっています。

(MA)N=738

単位：%

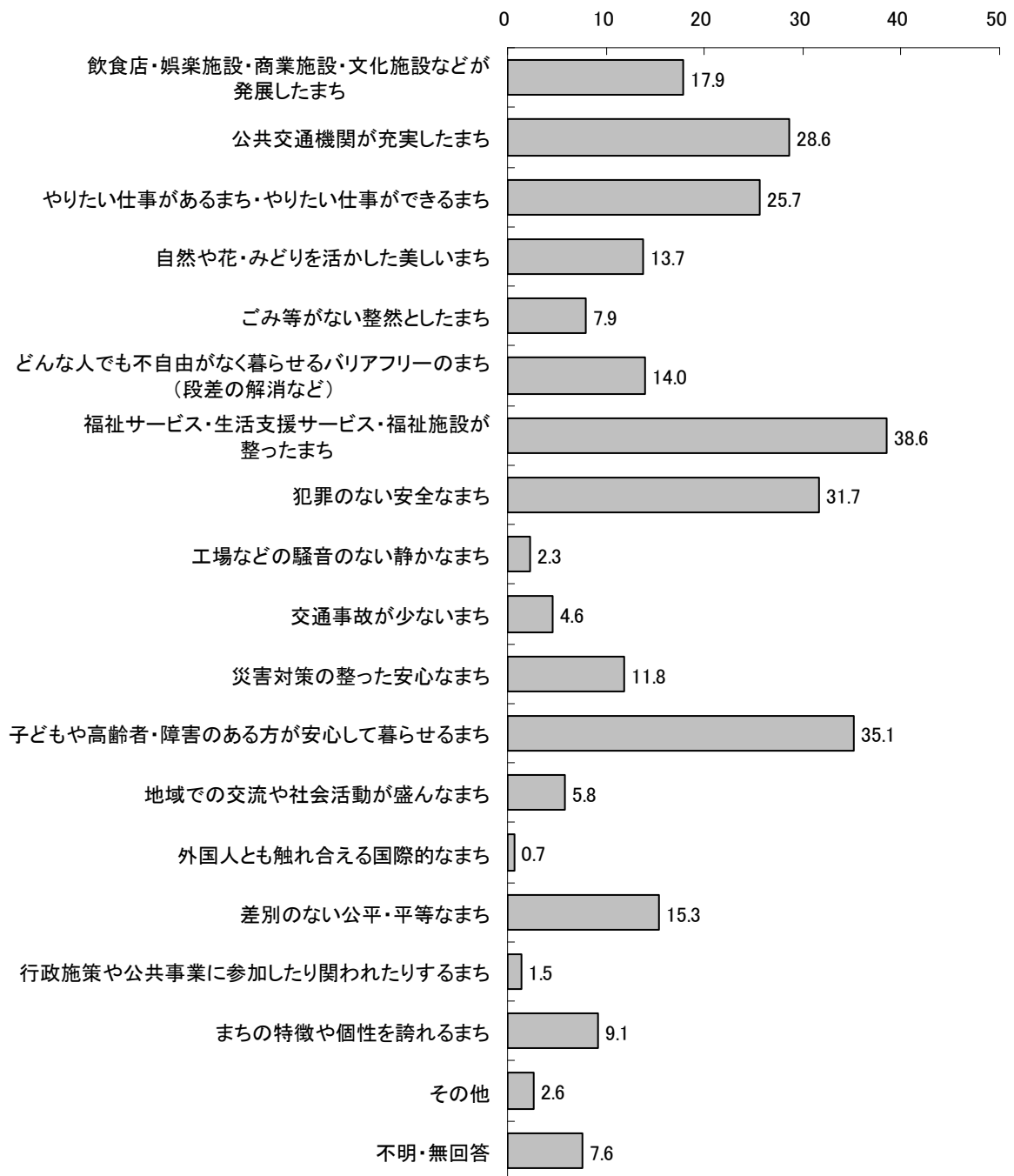


問 29 どのようなまちになれば、江田島市は住みよいまちになると思いますか。(MA)

どのようなまちになれば、江田島市は住みよいまちになると思うかについてみると、「福祉サービス・生活支援サービス・福祉施設が整ったまち」が 38.6%と最も多く、次いで「子どもや高齢者・障害のある方が安心して暮らせるまち」が 35.1%、「犯罪のない安全なまち」が 31.7%、「公共交通機関が充実したまち」が 28.6%となっています。

(MA)N=738

単位：%



問 30 問 29 の内容を参考に、あなたが得意なこと、できること（やりたいこと）で、地域に貢献できるものに何がありますか。（ちょっとした手伝いなど）

内容	件数
地域の見守り活動	17
◎高齢者の手伝い ・福祉関係の手伝い ・訪問看護（家事、話し相手） ・高齢者や一人暮らしの安否声かけ	15
清掃	12
パソコンが得意	8
◎自然や花、みどりを活かした美しい町づくりを手伝いたい ・田畑が荒れないようにしたい ・空地に花を植えたい ・学校や公園の花壇づくり ・町の景観整備、放棄地の有効利用	8
◎子ども達に昔の遊びや昔話ができる ・日曜などに話したり遊んだり、小学校がなくなったので機会が余りなくなった ・お手玉の作り方を教えられる。毛糸で小物を編んだりする ・絵かき歌 ・水鉄砲、竹馬、竹とんぼなどの作り方	7
ボランティア活動	7
手伝いできることがあれば参加したい	5
◎小さい子どもを見てあげられる ・広島市のように母親、父親が仕事から帰ってくるまで、子どもを預ることができる	5
◎自分の体力に自信がない ・障害者のため。高齢のため	5
草ぬき	4
料理が作れる	4
高齢なので迷惑をかけないように努力している	3
スポーツが得意。一緒にいろんなスポーツができたらい	3
子どもの登下校の見守り活動	2
ペン字・書道ができる	2

内容	件数
ダンスができる	2
レクリエーション活動	2
◎色々な人と交流ができる場がほしい ・広島市にある市民交流プラザのような施設。多目的な設備のある施設 ・誰でも気軽に集まれる場所がほしい	2
手芸ができる	2
大工作業	2
公園、街路樹などの剪定	2
・若いお母さんの話し相手をする ・乳幼児・母親への読み聞かせや、育児相談（話し相手）などできる	2
英語が得意	2
工作が得意	2
自動車の運転 ・介護タクシーなどの仕事がしたい	2
防犯・交通安全の指導	2
海の遊び、子どもに魚釣りの楽しさを教えられる	2
子供と遊ぶこと	2
油絵や水彩画など教えられる	2

(注) 同じ趣旨で、2件以上回答のあったものを掲載しています。

問 31 「団塊の世代」（昭和 22 年から 24 年にかけての第一次ベビーブームで生まれた世代）の人々が地域参加するためには、どんなことが必要だと思いますか。

イベント、行事、講習	件数
<ul style="list-style-type: none"> ・江田島市を主としたイベントに（祭り、地産地消市、催し物など）をする ・種類や時間帯も多くしてほしい ・各四町のイベントを市と各団体が1つになって、島独特のものをつくっていく。春・夏・秋・冬、各1回でよい ・ガーデニングや野菜づくりの講習をする ・興味のある活動を地域活動に取り入れる ・魅力のある行事を計画(外へ出てもらえるようなイベントを企画する) ・男性が参加できるもの ・ウォーキング つながるイベントをしてほしい ・イベントに参加しやすいようにチケットを配布する 	19

参加しやすい雰囲気づくり、環境づくり（場所）	件数
<ul style="list-style-type: none"> ・誰でも参加できるような環境づくりが必要 ・クラス会のように集ってテーマ毎に討議する ・男女問わず集まれる場所がほしい ・廃校を施設として運用する（土日を利用して学校施設を開放し、交流の場とイベントを設ける） 	18

呼びかけ、誘いあい	件数
<ul style="list-style-type: none"> ・各自治会や各団体で掲示板を立て、事業案内をする ・一人一人の呼びかけ ・参加グループと引きこもりグループが誘いあう ・呼びかける声をかける人の選び出し 	17

地域活動参加	件数
<ul style="list-style-type: none"> ・地域のお世話、お寺などの世話、公民館活動など、スポーツなども率先して参加する ・自分から進んで参加する ・全員参加をする ・女性も、もっと積極的に協力してほしい ・意識改革と地域参加の機会を提供する ・地域の介護事業などにも参加してもらう ・田舎の風土で、新住民の交流が少ないように感じる 	16

ボランティア活動	件数
<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者のへのボランティア ・青年団があれば、地域のため、ボランティアにも意識が向いて行く ・行政主導・自治会指導による、やりがいのあるボランティア活動の立案と実施 ・職別にボランティア参加 ・ボランティア講座 ・一般参加しやすくする 	15

近所づきあい、地域交流	件数
<ul style="list-style-type: none"> ・昔のような隣近所の親睦の深まりが大切。共同参画できる意識が必要 ・日頃から地域の人と交流すること ・同世代の横のつながりを1組1組とつなげて大きくしていく ・地域の生活役として、過疎化する集落の活性化に力を注いでほしい 	15

行政、役所窓口	件数
<ul style="list-style-type: none"> ・情報提供と参加しやすい窓口の案内 ・市役所職員の個人的な呼びかけ ・議員を選び地域の仕事（世話）をさせる ・市職員OB・OGが旗振り役をする ・NGOを奨励（補助金） ・地域活動内容と人材集めを広報し、事前申し込みする 	12

仕事、働くこと	件数
<ul style="list-style-type: none"> ・年齢に合うような仕事がほしい。(女・男、問わず) ・再就職などの斡施。市職員を減らして団塊の世代の方(たくさんの経験、キャリアがある方)、にパートで働いてもらう ・シルバー人材センターが各町にほしい ・積極的に雇用情報を公開する ・共働き夫婦が増えているので、子どもの面倒みてくれるような場所を増やし、団塊の世代の人に働かせてほしい 	12

子どもとの関わり	件数
<ul style="list-style-type: none"> ・子ども達との交流や手紙(メール)のやりとり ・学校などで、子ども達と一緒に社会勉強をする ・小・中学校で昔の経験談を語る ・子ども達と関わることで町おこしにも活性化にもなる ・子ども達が登下校する時、見まわりしてもらう 	13

グループ、会をつくる	件数
<ul style="list-style-type: none"> ・老人会の世代の前の会をつくる ・女性会のような会が男性にもほしい ・同年代の人との集まる機会をつくる(老人クラブなど) ・研究会を完施する。小グループの方が地域に合った話が盛りあがると思う 	9

リーダーとして	件数
<ul style="list-style-type: none"> ・リーダーシップを持つ人を育て、楽しく参加できるよう、よい人間関係をつくる ・運動(行動)の中心的な役割を果たす人を養成する 	8
地域の出会いの場所がない	1

今までの培った技術で若い人に伝える	件数
<ul style="list-style-type: none"> ・今までに身につけた技術や学んだことを若い人達に指導する ・場所を提供すれば地域参加が可能では ・後継者の育成 ・技術指導などをする企画 	8

今までの培った技術で活動する（場所）	件数
<ul style="list-style-type: none"> ・1人ひとりが得意とする活動を積極的に実行する ・技術、得技、趣味を活かす場所を提供する ・特技を活かした活動の場の拡大 ・特技を登録して、活かすように 	8

健康、体力づくり	件数
<ul style="list-style-type: none"> ・自分に合った運動、食事にも気をつけ、困っている人に手助けできるよ う、心がまえをしていく ・体力強化など自分自身が健康を維持し、病気にならないようにする ・メタボ健診 	8

企画、立案	件数
<ul style="list-style-type: none"> ・この島の特性をつかんで発展する何かを提案する ・参加意欲が高まるような魅力的な企画づくり 	5

余った土地を利用して	件数
<ul style="list-style-type: none"> ・耕作放棄地など整備し、J Aと協力して農作物の地産地消につとめる ・収穫物は、福祉施設、学校給食で消費し、福祉・教育費の削減分を、農 林復興にあてる 	5

(注) 同じ趣旨で、5件以上回答のあったものを掲載しています。

問 32 市の「福祉のまちづくり」について、あなたのご意見やご要望を自由にお書きください。

内容別分類	件数
福祉全般	177
高齢者福祉	50
障害者福祉	9
子育て	27
健康づくり	9
医療	18
公共基盤の整備（道路など）	57
その他	12

※ 内容別の件数のみ掲載しています。